

令和1年度 事業報告書

第15期

自) 平成31年4月 1日

至) 令和 2年3月31日

社会福祉法人 みよしの会

特別養護老人ホーム 桜荘

桜 荘 ショートステイ

桜荘デイサービスセンター

桜荘 居宅介護支援事業所

目 次

	ページ
1. 法人（本部）事業報告	
(1) 理事会・評議員会事業報告	P 2
(2) 職員構成	P 4
(3) 事業運営	P 4
2. 特別養護老人ホーム事業報告	
(1) 介護度別	P 11
(2) 年齢構成	P 11
(3) 在籍期間	P 11
(4) 保険者別	P 12
(5) 入退居状況	P 13
(6) 入退院状況	P 13
(7) 事業計画報告	P 14
3. ショートステイ事業報告	
(1) 月別利用状況	P 16
(2) 保険者別	P 16
(3) 介護度別	P 17
(4) 年齢構成	P 17
4. デイサービス事業報告	
(1) 月別利用状況	P 18
(2) 保険者別	P 18
(3) 介護度別	P 18
(4) 年齢構成	P 19
(5) 事業計画報告	P 19
5. 居宅介護支援事業報告	
(1) 月別利用登録状況	P 24
(2) 保険者別	P 24
(3) 介護度別	P 25
(4) 年齢構成	P 25
(5) 事業計画報告	P 26
6. 彩の国あんしんセーフティーネット事業	P 26
(1) 令和1年度桜荘事業実績	P 26

【別紙1】指導事項及び改善報告書

1. 法人（本部）事業報告

（1）理事会・評議員会事業報告

○理事会の開催

	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和1年6月12日	8名	1. 平成30年度事業報告に関する件 2. 平成30年度決算報告・監事監査報告に関する件 3. 常勤職員給料規定の一部改正に関する件 4. 理事・理事長の選任に関する件 5. 監事選任に関する件 6. オムツ代金の立替金に関する件 7. 西館エアコンの交換に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認
2	令和1年6月26日	8名	1. 理事長選任に関する件	承認
3	令和1年9月11日	7名	1. 就業規則の一部改訂に関する件 2. 非常勤の賃金改定に関する件 3. 特定処遇改善加算金に関する件 4. 新理事の候補者に関する件 5. スチームコンベクションオープンの購入に関する件 6. 消費税増税に伴う料金改定に関する件	承認 承認 承認 承認 承認
4	令和1年12月11日	7名	1. 令和1年度事業執行状況に関する件 2. 令和1年度予算執行状況に関する件 3. 新理事の候補者に関する件 4. 令和1年度実地指導監査に関する件 5. 定款の一部変更に関する件	承認 承認 承認 承認
5	令和2年3月11日	8名 (省略)	1. 令和2年度事業計画に関する件 2. 令和1年度補正予算に関する件 3. 令和2年度予算に関する件	承認 承認 承認

○評議員会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和1年6月26日	12名	1. 平成30年度決算報告・監事監査報告に関する件 2. 常勤職員給料規定の一部改正に関する件 3. 理事の選任に関する件 4. 監事選任に関する件 5. オムツ代金の立替金に関する件 6. 西館エアコンの交換に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認
2	令和1年9月25日	11名	1. 就業規則の一部改訂に関する件 2. 非常勤の賃金改定に関する件 3. 特定処遇改善加算金に関する件 4. 新理事の候補者に関する件 5. 消費税増税に伴う料金改定に関する件	承認 承認 承認 承認 承認
3	令和1年12月25日	10名	1. 令和1年度予算執行状況に関する件 2. 新理事の候補者に関する件 3. 定款の一部変更に関する件	承認 承認 承認
4	令和2年3月25日	12名	1. 令和2年度事業計画に関する件 2. 令和1年度補正予算に関する件 3. 令和2年度予算に関する件	承認 承認 承認

○監事監査の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和1年5月22日	2名	令和1年度財務状況監査報告 令和1年度事業報告監査報告	承認 承認

(2) 職員構成

○正職員（令和2年3月31日現在）

職種	施設長	センター長	事務長	課長	相談員	介護支援専門員	介護員	看護師	管理栄養士	機能訓練士	合計
採用	0名	0名	0名	0名	1名	0名	6名	0名	0名	0名	7名
異動	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
退職	0名	0名	0名	0名	1名	0名	4名	0名	0名	0名	5名
現在	1名	0名	0名	1名	3名	1名	54名	4名	1名	2名	67名

○非常勤職員（令和2年3月31日現在）

職種	介護員	夜間介護員	看護師	宿直	運転手	清掃員	合計
採用	4名	0名	4名	0名	0名	2名	10名
異動	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
退職	4名	0名	3名	0名	0名	3名	10名
現在	15名	0名	7名	2名	4名	2名	30名

(3) 事業運営

①健康診断

○職員健康診断

回	年月日	参加人数	備考
1	令和1年6月	49名	春季職員定期健康診断
2	令和1年11月～令和1年1月	78名	インフルエンザ予防接種
3	令和2年2月	89名	冬季職員定期健康診断

○入居者

回	年月日	参加人数	備考
1	令和1年6月	90名	春季入居者定期健康診断
2	令和1年11月	75名	インフルエンザ予防接種

②苦情・相談件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談	7	4	7	10	10	4	7	1	5	6	6	2	69
苦情	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3

○相談内容は、入居申し込みが主です。

③年間行事

月	行事名	備考
4	お花見	※ ユニット毎に誕生会、近隣へ 買い物や外出を実施した。
5	菖蒲湯	
6	—	
7	七夕会	
8		
9	敬老会	
10		
11	三芳町福祉まつり	
12	クリスマス会・クリスマスバイキング	
1	正月 初詣	
2	節分 恵方巻き体験	
3		

④会議の開催状況

会議名	回数	参加人数	参加職種	主な内容
運営会議	12	12名	施設長 総務課長 各課主任 各課相談員 栄養士 ケアマネ	施設運営管理・実施事業の確認 決定、検討
ケースカンファレンス	180	各回 職員7名 家族	施設長 ケアマネ 相談員 介護職 看護師 栄養士 機能訓 本人 家族	ケアプランの策定
給食会議	12	桜荘 7名 レオック 4名	施設長 相談員 栄養士 厨房 介護員 看護師	食・栄養に関する事項
リーダーミーティング	12	20名	相談員 CM 介護主任 UL 看護主任 栄養士	施設における暮らし・生活に関 する具体策の検討・案策定
ユニットミーティング	12	ユニット職員 5～9名	UL ユニット職員	ユニット内における暮らし・生 活に関する具体策の検討・案策 定

デイサービス月例会	12	6～10名	施設長 総務主任 相談員 介護員 機能訓練士	デイサービスの運営に関する事
-----------	----	-------	---------------------------------	----------------

⑤委員会の開催状況

委員会名	回数	参加人数	参加職種	主な内容	
地域交流委員会	12	4～9名	各課担当者	ボランティアの受け入れ調整と活動内容について	
入居検討委員会	12	7名	施設長 介護主任 相談員 ケアマネ 第三者委員	入居申し込み状況の確認 入居候補者の順位の決定について	
接遇委員会	12	3～8名	各担当者	法人の接遇に関する方針の決定 機関	
G接遇委員会	12	11～12名	各担当者	グループの接遇に関する方針の 決定機関	
感染症予防委員会	4	5名	各担当者	感染症についての検討・立案	
褥瘡予防委員会	4	6～7名	各担当者	褥瘡についての検討・立案	
拘束廃止委員会	12	7～12名	施設 相談員,CM, 介護課・看護課主任	法人の拘束廃止に関する方針の 決定機関	
事故防止委員会	12	6～10名	各担当者	事故分析 ・インシデント ・アクシデント 再発防止へ向けた対応策の策定	
緊急事故防止委員会	5	6～10名	各担当者		
衛生委員会	12	4名	産業医 施設長 看護主任 総務課長	職員の健康管理 職員の職場環境管理	
環境委員会	12	2～6名	各担当者	施設内・外の環境美化について 環境美化の計画・企画・立案	
ユニットケア 推進委員会	食事分科会	12	7名	施設長 各主任 CM ユニットリー ダー	経営理念である、個別ケアを 実現する為、ユニットケア理念を 全職員が共通理解できるよう な企画・立案・活動
	排泄分科会	12	7名		
	入浴分科会	12	7名		

⑥消防訓練

回数	訓練内容	年月日	参加人数	立会い・指導
1	総合訓練（夜間を想定）	令和1年10月30日	11名	東入間消防
2	総合訓練（日中を想定）	令和2年 3月16日	23名	東入間消防

⑦保守点検実施状況

項目	事業者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
建 物（法定点検）													
昇降機点検	ジャパン EV	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
受水槽清掃点検	毎日興業						○						○
簡易専用水道検査	県建築住安協						○						
建築設備定期点検	〃						○						
害虫駆除	シーアイシー					○						○	
電気自家発点検	関東電気保安	○		○		○		○		○		○	
消防用設備点検	カナイ消防機材			○				○					
自主点検													
ガス設備点検	山ニガス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリストラップ	毎日興業						○						○
窓	(株)CSS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施設備品													
複合機	リコージャパン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
空調設備	三菱電機		○						○				
施設車両													
ハイエース 1号車	トヨタレント									○			
ハイエース 2号車	トヨタレント												○
スペーシア 1号車	スズキ									○			
エブリー 2号車	スズキ									○			
タント 3号車	トヨタレント										○		

⑧研修

○施設内研修（計219名参加）

研修名	年月日	主催	参加人数
看取り研修	令和1年5月月14日	特別養護老人ホーム桜荘	33名
身体拘束廃止委員会	令和1年7月24日31日	特別養護老人ホーム桜荘	31名
褥瘡予防研修	令和1年8月7日	特別養護老人ホーム桜荘	14名
事故防止研修	令和1年9月3日10日 17日24日4日間	特別養護老人ホーム桜荘	35名
新入職者事故防止研修	令和1年10月9日	特別養護老人ホーム桜荘	6名
感染予防研修	令和1年9月27日	特別養護老人ホーム桜荘	17名

感染予防研修	令和1年10月30日	特別養護老人ホーム桜荘	23名
身体拘束廃止研修	令和2年2月26日27日	特別養護老人ホーム桜荘	32名
事故防止研修	令和2年3月9日10日 11日3日間	特別養護老人ホーム桜荘	28名

○外部研修（計65名参加）

研修名	年月日	主催	参加人数
集団指導	令和1年 5月27日	埼玉県	2名
高齢者急変時対応セミナー	令和1年 6月 8日	日本看護協会	1名
褥瘡予防ケアセミナー	令和1年 6月15日	埼玉県老人福祉協議会	1名
事務員研修	令和1年 7月17日	埼玉県老人福祉協議会	1名
摂食嚥下研究会	令和1年 7月21日	埼玉県老人福祉協議会	1名
介護職員研修	令和1年 8月 7日	埼玉県老人福祉協議会	1名
機能訓練の計画と実績	令和1年 7月12日	お茶の水ケアサービス学院	2名
看取りケア研修	令和1年9月12日13日	埼玉県老人福祉協議会	1名
寝たきり重度の復帰ケアと拘縮予防ケア	令和1年10月2日24日 11月6日	お茶の水ケアサービス学院	8名
医療連携に必要な知識	令和1年7月3日17日8月7日9月18日	お茶の水ケアサービス学院	5名
環境設定	令和1年10月29日	お茶の水ケアサービス学院	3名
栄養士研修会	令和1年11月8日	お茶の水ケアサービス学院	1名
看取り研修	令和1年12月25日	お茶の水ケアサービス学院	8名
感染予防研修	令和1年7月10日8月30日9月13日10月9日 11月22日11月29日	お茶の水ケアサービス学院	7名
虐待防止基礎研修	令和1年8月29日9月25日 10月23日11月27日12月25日	お茶の水ケアサービス学院	8名
看取り研修	令和1年11月27日12月25日	お茶の水ケアサービス学院	4名
埼玉県フォローアップ研修	令和2年1月9日	埼玉県老人福祉協議会	3名
ユニットリーダー研修	令和2年1月23・24日	日本ユニット協議会	2名
災害派遣登録研修	令和2年2月3日	埼玉県	1名
あんしんセーフティ研修	令和2年2月10日	埼玉県	1名
接遇マナー研修	令和2年3月4日	お茶の水ケアサービス学院	5名
介護技術研修	令和1年3月18日	お茶の水ケアサービス学院	7名

⑨アクシデント報告件数・・・・・・・・・・129件

	転倒	転落	すり落ち	誤薬・ 落葉	離設	窒息	異食	忘れ物	その他	合計
4月	3	3	0	0	1	0	0	0	1	8
5月	3	1	4	1	0	0	0	2	4	15
6月	3	0	2	0	1	1	0	0	6	13
7月	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
8月	2	0	4	0	0	0	0	0	5	11
9月	3	2	1	0	0	0	0	0	4	10
10月	0	0	1	1	0	0	0	1	1	4
11月	5	1	2	1	1	0	1	1	4	16
12月	1	0	1	4	0	0	0	1	2	9
1月	3	3	0	2	0	0	0	0	4	12
2月	2	0	2	0	0	0	0	0	4	8
3月	2	1	0	2	0	0	0	0	3	8
合計	27	12	17	11	3	1	1	5	41	118

その他の事案

入居者間トラブル・マーゲンチューブ抜去・皮膚剥離・皮膚裂傷・施設物品破損・アザ・誤配膳等 ※骨折アクシデント（8件）

⑩実習生受け入れ・体験・見学

○施設体験・見学

体験	年月日	学校名等	人数
「総合的な学習の時間」における福祉体験	令和1年7月3・4・5日	三芳中学校	8名
「総合的な学習の時間」における福祉体験	平成30年7月11日	三芳東中学校	11名

⑪行政関係

○指導監査開催状況

種別	対象	年月日	内容
指導監査	運営・処遇・財務	令和1年10月23日（水）	定期指導監査（実地）

○指導監査結果（令和2年1月14日付）

種別	対象	指導事項	回答
指導監査結果	運営	別紙1「指導事項及び改善報告書結果」参照	
	処遇		
	財務		

○介護相談員 第2水曜日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24名

⑫ボランティア・クラブ活動

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
9	8	10	8	7	9	7	9	8	4	5	0	84件

《主なVr》陶芸教室,茶道教室,ハーモニカ,傾聴ボランティア,音楽療法,リズム体操,書道クラブ等

⑬事業所別月次稼働実績

種別 月/定員	特 養		ショート		デ イ		居 宅		備 考
	90床	%	25床	%	20名	%	35名	8名	
4月	2734	98	767	99	465	75	37	2	31日
5月	2678	96	760	98	458	74	35	2	31日
6月	2619	97	727	97	450	75	38	2	30日
7月	2678	96	736	95	452	73	38	2	31日
8月	2734	98	767	99	446	72	36	2	31日
9月	2646	98	780	104	438	73	38	2	30日
10月	2650	95	798	103	440	71	37	2	31日
11月	2592	96	765	102	426	71	36	2	30日
12月	2678	96	782	101	440	71	35	2	31日
1月	2678	96	782	101	427	69	36	2	31日
2月	2444	97	693	99	403	72	32	2	28日
3月	2734	98	806	104	477	77	32	2	31日
合計	31865	97	9163	100	5322	73	(平均) 36	24	365日
稼働目標		96		96		80			

① 上記数値の標記は少数点第1位を四捨五入とする。

(令和2年3月31日現在)

2. 特別養護老人ホーム事業報告

(1) 介護度別 平均介護度4.2

介護度	男性	女性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	0	0
要介護3	6	7	13
要介護4	12	37	49
要介護5	5	23	28
計	23	67	90

(令和2年3月31日現在)

(2) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	1	3	4	最高年齢 男性 97歳 女性 105歳
65歳 ~ 69歳	0	0	0	
70歳 ~ 74歳	3	1	4	
75歳 ~ 79歳	6	9	15	
80歳 ~ 84歳	4	10	14	最低年齢 男性 70歳 女性 55歳
85歳 ~ 89歳	5	16	21	
90歳 ~ 94歳	3	15	18	
95歳 ~ 99歳	1	10	11	
100歳以上	0	3	3	平均年齢 84.6歳
計	23名	67名	90名	

(令和2年3月31日現在)

(3) 在籍期間

区分/性別	男性	女性	計
3ヶ月未満	2	3	5
3ヶ月 ~ 6ヶ月未満	4	4	8
6ヶ月 ~ 1年未満	3	10	13
1年 ~ 2年未満	4	9	13
2年 ~ 3年未満	4	10	14
3年 ~ 4年未満	4	9	13
4年以上	2	22	24
計	21名	69名	90名

(令和2年3月31日現在)

(4) 保険者別入居者数

保 険 者 名	入 居 者 数		計
	男 性	女 性	
三芳町	11	15	26
ふじみ野市	3	15	18
富士見市	1	8	9
所沢市	1	3	4
川越市	1	1	2
新座市	0	2	2
志木市	0	2	2
狭山市	0	0	0
さいたま市	0	1	1
新宿区	0	1	1
練馬区	0	7	7
清瀬市	0	0	0
三鷹市	0	1	1
中野区	0	0	0
板橋区	0	3	3
豊島区	0	0	0
上越市	0	1	1
佐渡市	0	0	0
竜ヶ崎市	0	1	1
西東京市	1	1	2
北区	0	1	1
真庭市	1	0	1
越谷市	0	1	1
入間市	1	0	1
東久留米市	2	1	3
八王子市	0	1	1
東村山市	1	1	2
計	23名	67名	90名

(令和2年3月31日現在)

(5) 入退居状況

月/区分	入居	退居				計
		死亡	長期入院	在宅復帰	他施設	
4月	5	2	2	0	0	9
5月	2	1	1	1	0	5
6月	2	1	0	0	0	3
7月	4	1	3	0	0	8
8月	0	0	0	0	0	0
9月	2	1	1	0	0	4
10月	2	1	1	0	0	4
11月	2	0	2	0	0	4
12月	5	3	1	1	0	10
1月	4	2	2	0	0	8
2月	0	0	0	0	0	0
3月	1	1	0	0	0	2
計	29名	13名	13名	2名	0名	57名

(令和2年3月31日現在)

(6) 入退院状況

月/区分	入院	退院
4月	5	2
5月	6	2
6月	5	4
7月	7	6
8月	4	2
9月	8	5
10月	5	7
11月	8	6
12月	9	4
1月	8	7
2月	4	4
3月	3	1
計	72	50

(令和2年3月31日現在)

(7) 事業計画報告

1. 人財教育の継続・質の向上（考える職員を育てます）を追求します。

1) ■クレドの理解や実践の向上

桜荘の求める人財像であるクレドがわかって行動できるようになります。

(報告)

⇒1年を通し、各ユニット会議にて勉強会を行ってきたので理解はできてきた。来年度も更に実践内容を継続とし、ユニット会議にて勉強会を行い、クレドを浸透させていく。そして、繰り返し、繰り返し行うことでより理解を深め、行動できるまで浸透するように継続していく。

2) ■チューター制度の見直し、質の向上

チューターが中心となり フロア職員一丸となって指導していきます。そして教える側も教わる側も 一緒に学び成長します。

(報告)

⇒どこまで出来たかシートは便利だったが、人によってばらつきが出てしまった。チューターと新人職員に係わる職員によって、発生してしまう合格ラインのばらつきをなくす為、チューターと UL2 人の目線でのダブルチェックを行うこととした。これにより、人によって差がない様に（ぶれないように）する意識が高くなった。

3) ■フィードバック面談の質向上を目指します ※（教える側も教わる側も学びす）

全職員が前向きに F B 面談をとらえ、自己の課題に向き合い 成長に繋がります。

(報告)

⇒定期的に自分の課題に向き合う機会を作る為に実践内容にあげてきたが、中間報告時に忘れてしまうことが多く直前に行ってきたという事から、次の FB 面談までの半年間の取組みの説明を行うことで、各々課題に真剣に取り組む UL からの催促なく、1人1人が自ら定期的に報告が出来るよう取り組んでいく事を目標としていた。しかしなかなか催促なく各自が報告することにまで至らなかった。継続し、課題に向き合う意識の向上を目指す。新年度から人事考課表が変わるが、一人一人のスキルアップという目標に変わりはないため継続して取り組んでいきたい。

2. ケアの質の向上を追求します！！

1) ■「生きることを想いやる気持ち」を大切にします！！

毎月の分科会を中心に個々の生活基本スタイル（食事・入浴・排泄等）や 24Hシート、ケアプランを見直し、通年かけて個別支援の質を向上させます。

(報告)

⇒マニュアルの見直し・修正は随時行ってきた。
24H シートのより良い活用方向についての検討は行えていないが、目標としていた

他部署との共有に関しては、更新時に個別入浴表と合わせて CM・SW へ提出することで情報共有はできていると感じている。

記録の向上に関しては、実感できていない為、研修などのアプローチ方法の検討が必要であるため、記録分科会を中心に考え一人一人の質の向上を目指したい。

2) ■安心・安全なサービスを追求していきます。

①生活記録をはじめとする記録類の充実を図ります。

(報告)

⇒良い記録の選出は行ってきたが、見本を見てもらうだけでは効果が薄かったため、記録分科会で研修を行います。意識して記入しているユニットもあるが、記入件数が少ないユニットもある為、。一人一人の理解を深めていけるよう継続して取組んでいきたいと思います。

② アクシデントへの取り組みを強化し、アクシデント件数を減らします。

(報告)

⇒事故防止委員会は件数の多いひやり・はっとの対策が必要と思われるケースには予防対策を立てるよう UL に促します。UL を中心にひやり・はっと報告を活用し、効果的な予防対策が早期にたてる支援をします。

昨年はひやりの件数を増やすことを目的としていた。今後はひやりの内容をより深めることで、ひやり・はっとの時点でアクシデントを未然に防ぐことを目的として引き続き継続していきます。

・リーダーM で重大アクシデントの内容・対策を報告し情報を共有します。それをユニット M の際に、自ユニットでも類推アクシデントの恐れがないかを検討し、その検討内容を会議録に載せることで情報を共有し未然に防ぎます。

・リーダーM で発表する際、より詳しい入居者の人物像を伝える事で、自ユニットで話し合う際にイメージが付きやすく、検討内容を充実させることができると考えた。

⇒事故防止委員会を中心に施設全体のアクシデント、ひやり・はっとの集計・分析を行い、事故対策を促進します。

・ひやり・はっとに限らず、同時期に発生した事案に関して注意を促す事が出来た。ひやり・はっとを重要視する事が、アクシデントを未然に防ぐことにつながるため新年度も継続して取り組んでいきたい。

3) 高齢者施設の専門職(看護・栄養・機能)として生活モデルの視点を養います。

(報告)

介護職と共にH 2 4時間シートを作成し、カンファレンス等に参加することで入所者・利用者・家族の想いを知ることができケアにつながられた。

病院よりの退院時には病院と連携を取り、安全にサービスの提供ができるように情報の共有ができるようにしていく。

②看護師としてその方の疾患を把握し、必要に応じて疾患についての勉強会をひらきます。

(報告)

・体調不良を早期発見し、重度入居者の受け入れを行っていった。

4) 食の楽しみを追求していきます。

(報告)

個別栄養マネジメントを提案しながら、食の楽しみを追及した。

また、季節感と楽しみでの満足感を得られるように、バイキング・駅弁等の提供を行った。他部署との連携を取り、入居者の情報を共有して適切で安全な食事の提供を行っていく事を継続していく。

5) 自己研磨しよう

(報告)

フィードバック・研修で学ぶ機会を提供しました。

6) 地域への貢献をしよう

(報告)

桜荘内外に係わらず、地域活動を積極的に行ってまいりました。

7) 経営基盤の強化

(報告)

特養の役割である重度入居者の受け入れを積極的に行ってまいりました。

3. ショートステイ事業報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	目標
定員	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	
%	99	98	97	95	99	104	103	102	101	101	99	104	100 (平均)	96

(令和2年3月31日現在)

(2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	18	22	40
ふじみ野市	7	13	20
富士見市	3	9	12
所沢市	2	6	8
川越市	0	2	2
新座市	7	3	10
朝霞市	0	3	3
練馬区	0	4	4

葛飾区	2	0	2
清瀬市	3	6	9
西東京市	2	0	2
越谷市	1	1	2
国立市	0	1	1
世田谷区	0	1	1
東久留米市	1	2	3
板橋区	4	2	6
計	50	75	125

(令和2年3月31日現在)

(3) 介護度別 平均介護度3.5

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	1	2	0	8	13	12	9	45
5月	1	2	1	8	10	15	7	44
6月	0	0	3	9	14	15	5	46
7月	0	0	4	4	12	15	7	42
8月	0	0	4	6	16	16	7	49
9月	0	1	3	3	11	11	8	37
10月	0	0	4	6	15	9	8	42
11月	0	0	2	5	16	12	9	44
12月	0	0	1	6	16	10	9	42
1月	0	0	2	8	12	10	9	41
2月	0	1	0	8	10	9	8	36
3月	0	0	3	7	11	10	7	38
計	2	6	27	78	156	144	93	506

(令和2年3月31日現在)

(4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	0	0	0	最高年齢 男性 97歳 女性 102歳
65歳 ~ 69歳	0	2	2	
70歳 ~ 74歳	0	0	0	
75歳 ~ 79歳	2	3	5	最低年齢 男性 67歳 女性 66歳
80歳 ~ 84歳	2	3	5	
85歳 ~ 89歳	5	5	10	
90歳 ~ 94歳	4	0	4	
95歳 ~ 99歳	0	0	0	平均年齢 83.4歳
100歳以上	0	0	0	
計	13名	13名	26名	

(令和2年3月31日現在)

②苦情・相談件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談	12	7	9	7	9	3	6	6	6	4	7	3	79
苦情	2	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	6

○相談内容は、サービスの利用申し込みが主です。

(5) 事業計画報告

※特養部門の報告と同様

4. デイサービス事業報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	目標
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
%	75.4	73.5	74.8	73.3	72.2	73.4	70.7	70.6	70.6	69.2	71.6	76.5	72.6	80

②苦情・相談件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談	5	5	4	3	4	7	2	1	4	5	1	0	41
苦情	2	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	6

○相談内容は、利用申し込みが主です。

(2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	12	33	45
ふじみ野市	1	1	2
富士見市	1	2	3
朝霞市	0	4	4
所沢市	0	1	1
川越市	0	1	1
計	14名	42名	56名

(3) 介護度別 平均介護度 1.6

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	1	1	17	15	6	3	1	44
5月	1	1	16	15	6	2	1	42
6月	1	1	18	14	5	2	0	41
7月	1	1	17	15	5	3	0	42

8月	1	1	17	14	5	3	0	41
9月	1	1	15	14	4	3	0	38
10月	1	2	16	13	6	3	0	41
11月	0	2	16	12	5	3	0	38
12月	0	2	16	11	4	3	0	36
1月	1	2	17	12	4	1	0	37
2月	0	3	14	12	4	2	0	35
3月	0	3	15	12	4	2	0	36
計	8	20	194	159	58	30	2	471

(4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	1	0	1	最高年齢 男性 93歳 女性 99歳
65歳～69歳	0	0	0	
70歳～74歳	0	5	5	
75歳～79歳	4	6	10	
80歳～84歳	3	6	9	最低年齢 男性 63歳 女性 71歳
85歳～89歳	2	11	13	
90歳～94歳	4	11	15	
95歳～99歳	0	3	3	
100歳以上	0	0	0	平均年齢 84.73歳
計	14	421	56	

(5) デイサービス事業計画報告

自立（律）支援の介護を提供します。

◆利用者の自立（律）支援を理念とし、サービスを通じて在宅生活のサポートを

行います。

- ①衣服の着脱、歯磨きや整容、靴の履き替えなどの在宅で必要な日常生活の動作等、利用者が持っている身体機能を維持できるよう支援します。
- ②個々の自立支援について検討・見直し・改善を行い支援します。

- ① 着脱・洗身・洗髪は基本的には利用者自身に行ってもらえるよう声掛け・見守りを行い個々に合わせて支援できたが手を貸してしまう事もありました。個々身体状況をこまめに確認し、時にはチャレンジしてもらい、職員は気持ちに余裕を持って利用者の着脱を支援していきます。
- ② 靴のはき替えは玄関にて混雑してしまう事が多く、安全を優先してしまい利用者に座ってもらって職員が靴を席までもって行くが多かったです。足元の変化等の早期発見、靴の種類やサイズの変更等検討し家族へ発信していきます。
- ③ 利用者自身でコート等をハンガーにかけてもらう様に促すもかけてもらった後に名前の確認が出来ないことがあり職員が掛けてしまう事が多かったです。送迎時間や誘導のタイミングを調整し、利用者と一緒に確認しながら慌てずに支援していきます。ADLの見直し検討をこまめに行っていきます。

◆利用者の身体機能の維持・向上に努めます。

- ① リハビリ体操、個別訓練、調理、園芸等「やりたい事」を確認し、さまざまなプログラムを提供しながら身体機能の維持・向上を目指します。
- ② 合同体操やレクリエーションを通じて楽しみながら身体機能の維持・向上に努めます。

- ① 機能訓練士による集団体操や個別機能訓練は利用者からも好評で楽しみの一つになってきています。利用者が飽きないように定期的にプログラムを検討・変更を行う必要があります。
体操・機能訓練以外での身体機能維持や向上の取り組みは不定期の散歩を行いました。不定期の散歩を定期的に行えるよう調整し、敷地内だけでなく気軽に散歩外出出来る様企画していきます。
- ② 合同体操後のオリジナル体操やレクでの身体機能維持や向上を意識して実施しました。合同体操・レク時に休息を優先される利用者に対し当日の体調や様子を観察し声掛け等を行い、少しでも参加してもらえるような取り組みも行っています。

2. エンジョイ&リラクゼーション (サービスの質の向上)

※リラクゼーション部門

◆リラクゼーションコーナーの充実。

リラックスできる環境を整え、日々笑顔で楽しく過ごせるように努めます。

- ・足浴機やマッサージ機を利用される方が増えており、同じ方が利用されていることが多く見られていました。（足が軽くなった等身体的改善の意見もありました）
足浴機は特に使ってもらおうと喜んでもらえることが多いため今後は幅広く声掛けし多くの利用者に推進していきます。
- ・足浴機やマッサージ機を使用している際、隣の丸テーブルに外来の方が使用していると丸見えでリラックスできないと感じることがありました。丸テーブルを使用している場合はパーテーションで区切るようにしていきます。
- ・アクティブ（外出行事や農作業等）は行えている為、今後はリラクゼーションのバリエーションが増えると静（リラクゼーション）と動（アクティブ）のバランスが取れてアピールポイントになると思われるため検討していきたいと思えます。

◆安全で快適な入浴を提供します。

- ①楽しみながら快適に入浴できる様、環境整備し、企画・活動を行います。
- ② 全身の観察を行い、皮膚状態の変化の把握に努めます。又、清潔保持・自立動作を促し、利用者が持っている身体機能を維持できるよう支援します。
- ③利用者の身体状況を把握し、個々に合わせたケア（介助）を支援します。

- ① 浴室内の写真は利用者に好評で快適に入浴してもらえたが、季節ごとの企画湯は多く実行できなかった。行った時は季節を感じ、目で楽しみ香りで喜んでいただけました。利用者が飽きないよう浴室内の写真は時々変えて、企画湯はもっと多く行っていきますコミュニケーションや入浴直後の水分補給も快適な入浴の一つですので継続していきます。
- ② 着脱時等で全身観察を行い、介護職・看護師・相談員と連携し皮膚状態の変化の把握・改善に努めました。看護師がバイタル測定や体調不良者の対応等で入浴場に来れない状況もあるため、介護職・看護師・相談員の連携の強化・報連相を徹底していきます。
- ③ 着脱・洗髪・洗身等、利用者の身体状況を把握に努め、利用者自身で行える動作は自発的に行ってもらえるよう声掛け、一部介助を行いました。普段の様子と当日の様子が異なる場合も多くある為、基本情報+当日の様子を把握しながら当日の利用者に合わせて支援していきます。

※エンジョイ部門

◆行事・創作・園芸を強化し充実させます。

- ①日々コミュニケーションを図り、ニーズに合わせて楽しみ・開放感を感じられる外出企画・活動を行います。（12回／年）
- ② 楽しく指先を動かし、意欲の向上、達成感を感じられる創作を企画します。
- ③農作業、花のお世話等を通じて楽しみ、喜び、達成感等が感じられるよう季節に合わせた活動を行います。

- ① 季節に合った外出が出来たが目標（12回/年）は達成できなかった。
新しい外出場所を検討するも車の確保が困難なことがあり近場の外出が多くなった。外出回数 7回。外出方法を検討・見直しを行っていきます。（少人数で回数を増やす等）
- ② 団体・個人創作、共に少しでも多く参加してもらえるように声掛けやコミュニケーションを図りながら実施することが出来ました。
展示会に出品を目標に創作を行うことでやる気や達成感を感じてもらえました。完成度をあげる為に職員が仕上げをしすぎてしまった事もあったため、利用者の状態を考えながらできるだけ利用者にしてもらえよう作業工程や進め方を工夫して計画を立て担当者だけでなく職員全員で取り組んでいきます。
- ③ 収穫して利用者と調理し食すことは楽しみながら行えていたが、育てることに関しては介護職の参加があまりできなく、限られた利用者（歩行が安定している方等）と行うことが多く感じられました。もっと多くの利用者に参加してもらいたいため、役割の見直しを行い積極的に介護職が利用者と作業ができるように環境整備を行って改善していく必要があります。

◆食の楽しみを追求していきます。

- ①委託業者とともに毎月（1日）デイサービス限定の実演調理・イベント食を企画し行います。各曜日2回/年（実演調理、11回/年 イベント食1回/年）
- ②手作りおやつ（1回/月）、参加型調理等を企画し行います。（12回/年）
- ③咀嚼、嚥下、味覚等の状態を常に観察し、良好に食事摂取ができるよう支援します。又、定期的（3か月に1度）体重測定を行い、急激な変化等見逃さず健康的な生活が送れるよう支援します。

- ① 実演調理は好評で、見る、聞く、香り、食す事で楽しみや満足感を味わってもらう事が出来た。結果、食欲の増加も感じられました。
各曜日2回/年（実演調理、11回/年 イベント食1回/年）実施
- ② 目標は達成したが、もう少し利用者と一緒にできるよう作業工程や進め方を工夫して計画を立て担当者だけでなく職員全員で取り組んでいきます。1回/月 計18回実施
- ③ 嚥下、食事形態を見直す機会が多かったが、相談員への報連相を密に行い食事形態変更等、状態に合わせて対応することが出来ました。誤嚥の危険性のある利用者が増えることも予測し要観察は必須。変化を見逃さないよう努めていきます。

3. 安心、安全なサービスを提供します。

- ①利用者の心身の状態を意識し個々へのコミュニケーション、バイタルチェック等を行い、心身の状態や変化の把握に努めます。
- ②安全の確保(目配り、気配り、心配りの強化)に努めます。
- ③アクシデントへの取り組みを強化します。
モニタリングシートの作成。又、ひやり・はっと報告記入の意識を高め、予防対策を早期に立てることでアクシデント件数を減らします。

- ① 利用者とのコミュニケーションをとりながら心身の変化や現状を話の中で細やかな情報を得ることが出来ました。又、利用者だけでなく送迎時の家族からも利用者の情報を得られるように意識して接し、得た情報は相談員や看護師に報告を行い対応することが出来ました。
- ② 業務に集中すれば、利用者から目を離してしまう事が多くなり、利用者を中心に優先的に行動すると業務が遅れてしまう事が多くありました。業務マニュアルの見直しや改善を行うとともに、職員の個々の意識の改善・スキルアップを図り、職員同士助け合い安全の確保の強化を進めていきます。
- ③ ひやり・はっとの意識は向上し、未然にアクシデントを予防できたケースもあったと思うが、前年度同様、骨折のアクシデントが1件あったため強化できたとは言えませんでした。今年度、アクシデント7件、ひやり・はっと24件。
未然に防げるアクシデントもあった。職員一人一人が、利用者や自分以外の職員の行動を把握し危険意識を持って業務を行っていきます。

4. 稼働率の安定を図ります。

- ① 稼働率80%/月・登録数50件/年を目標とし、デイの取り組み、特色、利用状況等を毎月発信し、居宅・地域包括支援センター等の関係機関へ毎月35件以上訪問しアピールします。
- ② 稼働率への意識を持ち、サービスの在り方を月例会議にて検討します。
- ③ ご利用者、ご家族、関係者機関からの苦情・相談等をきめ細かく吸い上げ迅速に対応し、より信頼されるデイサービスにします。

- ① 4月～3月にて稼働率平均73% 登録数平均41名。目標達成できなかったが各事業所に空き情報や利用者の状況や様子を細目に伝え、各事業所の担当の方と信頼関係を築ける様努めました。
- ② 月例会議にて相談員より稼働状況や家族・CM等からの要望等を報告し、サービス内容の検討・改善・実施に努めました。
- ③ 日々のコミュニケーションや担当者会議、アンケート等より吸い上げた情報（苦情・相談・要望）に対し、対応（検討・改善・実施）に努めました。

5. 人材教育・質の向上（考える職員を育成します。）

- ① フィードバック面談を活用し、考課者と考課対象者が共に課題・長所を共有し成長につなげます。
- ② 職員が成長したい要点に沿った外部研修情報を提供します。

・新人指導の際、教える側の職員（新人以外全員）は自身が行っている事を見直し、改善した上でより親切かつ分かりやすく指導することが出来ていなかった。丁寧に行っていた介助が雑になってしまっていたり、他の職員と自身の介助方法に違いがでてきたことに気づき修正出来たりと新人指導の機会はその他職員にとって、自分の今の業務を振り返り・改善するチャンスととらえ、新人職員に見られていても恥ずかしくない行動・言動・親切かつ分かりやすい指導を行っていきます。

新人職員はその他職員の行動・言動や取り組む姿勢等を細かく観察し自身に活かし、仕事に対しての考え方や経験等を傾聴することも成長していくために必要とし、積極的にコミュニケーション・行動できるよう心掛けていきます。

- ① 個々の課題を見直しながら取り組めるよう課題を共有し業務に活かすことが出来ました。
- ② 外部研修にほとんど行くことが出来ず、施設内研修には参加するようにしました。各委員会での施設内研修やネット研修は勉強になり知識を深めることができました。

6. 地域への貢献に努めます。

- ①地域活動（ボランティア活動）を積極的にお受けし、地域交流を図り、ボランティアの方々には気持ち良く活動して頂けるように、事前打ち合わせ、当日準備を行い参加します。

・新規でのマジッククラブを含め定期で9団体のボランティアに行ってもらい利用者を初め、ボランティアに来てくれている方たちにも気持ちよく楽しんでもらう事が出来ましたが、活動中に職員がほかの業務を行うことが多く、利用者と一緒に参加できるようにしていきます。当日準備・活動は大変ですが職員がより関心を持って参加できるよう、ボランティアの方に任せきりにせず、積極的に参加していきます。

5. 居宅介護支援事業所事業報告

(1) 月別利用登録状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	35	34	37	36	35	36	36	34	35	35	32	31	416
予防	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20

(2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	14	24	38
ふじみ野市	0	1	1
富士見市	0	0	0
越谷市	0	1	1

川越市	0	1	1
鹿野市	0	0	0
那須塩原市	0	0	0
朝霞市	0	1	1
大和市	0	0	0
世田谷区	0	1	0
墨田区	0	0	0
計	14名	29名	43名

(3) 介護度別

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	0	2	8	17	4	4	2	37
5月	0	2	11	13	3	5	2	36
6月	0	2	13	15	3	4	2	39
7月	0	2	13	15	3	3	2	38
8月	0	2	14	13	3	3	2	37
9月	0	2	13	13	3	4	3	38
10月	0	2	14	10	5	5	2	38
11月	0	2	14	9	5	4	2	36
12月	0	1	15	8	6	4	2	36
1月	0	1	16	7	6	4	1	33
2月	0	1	15	7	5	4	1	33
3月	0	0	16	5	5	4	1	32
計	0	19	162	132	51	48	23	416

(4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	1	0	1	最高年齢 男性 94歳 女性 98歳
65歳 ~ 69歳	0	0	0	
70歳 ~ 74歳	2	1	3	
75歳 ~ 79歳	3	5	8	最低年齢 男性 56歳 女性 71歳
80歳 ~ 84歳	3	9	12	
85歳 ~ 89歳	4	5	9	
90歳 ~ 94歳	1	7	8	
95歳 ~ 99歳	0	2	2	平均年齢 81.2歳
100歳以上	0	0	0	
計	14名	29名	43名	

(5) 事業計画報告

○人財育成

(報告)

文献等による自己研鑽や三芳町地域ケア会議、ケアプラン点検、埼玉県介護支援専門員協会が主催するスキルアップ研修に定期的に参加しました。それにより専門的な知識や技術を高めることができます。引き続き、質の高いケアプランを作成していきます。

○経営基盤の強化

(報告)

稼働率98.8%となっております。2月に入院・入所により、ケアプラン数が減少。例年なら春に新規の依頼が増えるが、今年は新型コロナウイルス感染予防対策による自粛モードにて、新規の依頼が来なかった。既存の利用者の体調管理を行い、ケアプラン数が減少しない様にしていきます。

○地域への貢献

(報告)

ご利用者宅訪問時に、防犯や防災の啓蒙活動を行いました。三芳町地域ケア会議、三芳町認知症施策推進連絡会、三芳町認知症に関わる事業所連絡会に定期的に参加しました。

それにより、ご利用者やご家族の意識を高め、個別に対策を講じたり、保険者と地域分析や地域の実情に応じたサービスを推進することができています。引き続き、地域資源を活用しながら、安心して暮らせる町づくりに貢献していきます。

6. 平成30年度 彩の国あんしんセーフティネット事業実績 (生活困難者に対する相談支援事業)

令和1年本事業の事業実績をご報告させていただきます。

【埼玉県】相談支援実績の概要

※別紙「彩の国あんしんセーフティネット事業実績」 参照

【桜荘】 桜荘相談支援実績

相談件数 : 1件

現物給付金額: 17,118円

(1件目)

日付	平成30年5月
紹介経路	三芳町社会福祉協議会 ⇒ 桜荘
人物	50代 女性
対応支給品	■ライフライン の復旧 (電気)

令和2年3月31日 付